

中間検査チェックシート C3表(鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造)

※工事監理者は、太枠内のみ記入すること

検査項目	照 合 内 容		工事監理者	検 査 記 録		
				A:目視検査 B:実測検査 C:監理者報告	結果	修正
1 全体形状及び部材の配置	ア	建築物の形状		A : B : C	適・否	
	イ	建方の精度		A : B : C	適・否	
	ウ	柱、梁の配置		A : B : C	適・否	
	エ	垂直、水平ブレースの配置		A : B : C	適・否	
	オ	剛性床の配置		A : B : C	適・否	
2 使用材料	ア	鋼材の種類		A : B : C	適・否	
	イ	高力ボルトの規格		A : B : C	適・否	
3 柱	ア	部材の形状・寸法		A : B : C	適・否	
	イ	溶接箇所の外観		A : B : C	適・否	
	ウ	ベースプレートの寸法、モルタル充填等		A : B : C	適・否	
	エ	アンカーボルトの径、本数、締付け状況等		A : B : C	適・否	
	オ	露出型固定柱脚のチェックシート		A : B : C	適・否	
4 大 梁	ア	部材の形状・寸法		A : B : C	適・否	
	イ	ボルトの種類、径、本数、締付け状況等		A : B : C	適・否	
	ウ	溶接箇所の外観		A : B : C	適・否	
5 小 梁	ア	部材の形状・寸法		A : B : C	適・否	
	イ	ボルトの種類、径、本数、締付け状況等		A : B : C	適・否	
	ウ	溶接箇所の外観		A : B : C	適・否	
6 柱・梁の仕口	ア	溶接箇所の外観		A : B : C	適・否	
7 床	ア	部材の形状・寸法		A : B : C	適・否	
	イ	梁との接合方法		A : B : C	適・否	
8 ブレース	ア	位置		A : B : C	適・否	
	イ	部材の形状・寸法及び位置		A : B : C	適・否	
	ウ	取付け方法		A : B : C	適・否	
9 その他	ア	防錆処理		A : B : C	適・否	
	イ	溶接部分の非破壊試験		A : B : C	適・否	
	ウ	梁貫通孔の補強		A : B : C	適・否	
	エ			A : B : C	適・否	

※ 工事監理者は、工事監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。
 なお、否となった事項については、それに対する措置等を下記に記入すること。

工事監理者への 指摘事項等	中間検査	合格・不合格・合格保留	後続工程	可・不可	工事監理者名(検査立会者)